



2018年 宮古島市の話題

こども医療費の窓口無料化開始	今年3月からこども医療費助成制度がこれまでの自動償還方式から、現物給付方式に替わり、健康保険適用分の医療費の自己負担額について、窓口で支払うことなく医療を受けられるようになり、こどもの疾病の早期発見や医療を促進し、健全な育成が期待される。
上野・下地地区に認定こども園開設	今年4月、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ幼保連携型認定こども園が、公立としては初めて上野地区（上野認定こども園）と下地地区（下地認定こども園）に開設される。
伊良部漁協（海業支援施設）新築	伊良部地区において、地域水産業の強化及び振興を図るため、平成28年度より整備が行われてきた海業支援施設が平成30年度より供用開始される。本施設の供用開始により、佐良浜漁港に水揚げされる新鮮な地域水産物を市民・観光者等へ普及するとともに、低利用・未利用資源の加工品への利活用や、民泊など漁業と観光が連携した都市漁村交流を促進する施設として、6次産業化による漁村の魅力向上が期待される。
宮古島市総合庁舎建設（造成工事）に着手	昨年、宮古島市総合庁舎整備事業基本構想・基本計画が策定され、今年11月を目処に建設予定地に関する国有地売買契約締結後、造成工事が着工される。本格的な建設工事は平成31年4月を予定しており、平成33年4月の新庁舎開庁を目指す。
下地島空港を活用したパイロット養成事業が開始	平成29年3月に下地島空港及び周辺用地の利活用推進に向け、沖縄県と株式会社FSOとの間で基本合意が締結された「下地島空港を活用した革新的航空パイロット養成事業」が4月からスタートし、下地島空港において実機訓練の実施など、パイロット養成に向けた本格的な取り組みが展開される。
小さな拠点づくりによる大神島への移動販売車導入	離島住民の生活を支えるため、日常生活に必要なサービス機能を維持し継続的な集落の維持、活性化を図ることを目的として、大神自治会に移動販売車を導入し、日常の買い物に支障をきたしている高齢者へ食料品等の供給体制を整備し生活支援を行う。併せて、来島する観光客へ島の特産品の販売を行うと共に、島民との交流を図り、島の活性化に繋げる。
ドームフェスタ開催（JTAドーム）	今年1月に県内・地元ミュージシャンによる音楽イベントに加え、キッズコーナーの設置などドーム全体で楽しめるドームフェスタが開催される。
危機的な状況にある言語・方言サミット宮古島大会開催	消滅の危機にある言語・方言に関する調査研究成果や各地域の取組事例について広く知ってもらうことを目的として、危機言語・方言の聞き比べや講演など、文化の多様性を支える言葉の役割や価値について共に考える、「危機的な状況にある言語・方言サミット」が開催される。
第19回WJBL（バスケットボール女子日本リーグ）公式戦開催	1月27日（土）、28日（日）の両日、JTAドーム宮古島を会場にWJBL公式戦（デンソーアイリス vs 新潟アルビレックスBBラビッツ）が開催される。
サテライトオフィス誘致開始	平成28年度より可能性調査、企業誘致活動の取組を行っている『サテライトオフィス@宮古島』を平成30年度、下地庁舎3階部分の機能強化の改修事業に着手し、企業の誘致を行う。計画では、平成30年5月着工、11月までに強化工事を終え、11月に企業の入居を予定している。

2018年

新年のごあいさつ



宮古島市教育委員会
教育長 宮國 博

「教育環境の更なる向上」を目指して

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ち溢れた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市教育行政に対し、格別なるご指導、ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。昨年も、本市教育行政の重要施策である学力向上、子育て環境の改善、学校規模適正化、また、生涯学習・芸術文化の振興等に邁進してまいりました。

学校規模適正化につきましては、宮古島市立小中一貫教育学校「結の橋学園」の建設に着工し、平成31年4月の開校を目指して更なる取り組みを進めます。

子育て環境の改善では、預かり保育を実施している幼稚園11園にクーラーを設置しました。今後、各小中学校普通教室への設置に向け、整備計画を策定いたします。

学校給食については、安全・安心に、そして、安定した運営を行うため調理業務の民間委託を実施し、また子育て支援の一環として給食費の半額を助成しました。今後も安定した給食の提供と保護者の負担軽減を図ります。

児童・生徒の学力向上は喫緊の課題であり、昨年の全国学力テストの結果で見ると、小学校はほぼ全国標準を維持し、中学校では全国標準に近づいております。また小中学校とも無回答率が減少するなど、着実に成果を上げており、引き続き学習規律の徹底及び授業改善に

取り組んでまいります。

生涯学習、芸術・文化の振興では、市民総合文化祭や生涯学習フェスティバル、マティダお笑い劇場などを開催し、多くの市民の皆様にご来場いただきました。今年は、「危機的な状況にある言語・方言サミット」が宮古島市で開催されます。文化の多様性を支える言語の役割について考える、良い機会になると思われまます。

児童・生徒のスポーツ・文化面でも数々の輝かしい活躍で、その報告に訪れる子ども達の誇らしい顔を大変喜ばしく思い、保護者の皆様、地域の皆様方のご支援の賜だと心より感謝申し上げます。

今年も、「郷土の文化と自然に誇りを持ち、心豊かで創造性・社会性・国際性に富む人材育成と生涯学習の振興」を基本理念とし、山積する教育行政の課題解決に取り組みとともに、市民の皆様方の期待に添うべく教育委員会一丸となって教育の振興を図ってまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が市民の皆様方にとりまして幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。新年のあいさついたします。

宮古島市教育委員会
教育長 佐和田貴美子
職務代理者 野原 敏之
委員 池間 雅昭
委員 中尾 忠祐